



## Admin UI を使用した RBAC の設定

この章では、プライムケーブルのプロビジョニングのセキュリティ機能について説明します。さまざまなレベルのセキュリティを管理するには、この機能を設定して、使用します。RBAC の概念情報については、[RBAC 管理](#) を参照してください。

適切なユーザ管理とセキュリティのため、プライム ケーブル プロビジョニングは認証ユーザにシステム機能とリソースを制限するアプローチを提供する、ロールベース アクセス コントロール (RBAC) を導入します。ロールは粒度の高い権限で構成されます。権限は適用のベースユニットです。初期状態のデフォルトを超えて、認可ポリシーのカスタマイズを有効にする論理ジョブ機能に権限セットのロールをグループ化します。

プライムケーブルプロビジョニングは、デフォルトの初期状態 (OOTB) のロール、権限、ユーザ、ユーザグループおよび利用できるドメインの一部を提供します。これらのデフォルト設定とは別に、組織要件を満たすために独自に設定を定義することもできます。デフォルトの OOTB 設定は編集または削除できません。

4 つのレベルのチェックがあります。

- URL アクセス確認 - Admin UI またはウェブ サービスなどのコンポーネントに直面するウェブを強制します。
- 操作/方式レベル チェック：操作するためのアクセスを保護するコンポーネントによって行われるエンフォースメント。このタイプのアクセス チェックは、主に RDU と DPE CLI で実行されます。ユーザが操作の呼び出しに適切な権限を持っていることを確認する手法です。
- インスタンス レベル チェック：ユーザーによる特定のオブジェクトへのアクセスを適用します。この適用は RDU と活用データベース機能で実行されます。
- プロパティ レベル チェック：ユーザーによる特定のプロパティへの書き込みアクセスを適用します。この適用は RDU で実行されます。
- [セキュリティの設定 \(2 ページ\)](#)

# セキュリティの設定

セキュリティメニューを使用して、さまざまなレベルのセキュリティを設定し、管理します。次の操作を実行できます。

- ドメインの追加、変更、または削除については、[ドメイン管理 \(2 ページ\)](#) を参照してください。
- デフォルトの権限を使用してロールを追加、変更、複製、または削除については、[ロール管理 \(3 ページ\)](#) を参照してください。
- ユーザグループの追加、変更、複製または削除、ユーザグループへのロールの割り当てについては、[ユーザグループ管理 \(4 ページ\)](#) を参照してください。
- プライム ケーブル プロビジョニング ユーザグループへの既存の外部ユーザグループのマッピングについては、[ユーザグループマッピング \(5 ページ\)](#) を参照してください。
- ユーザの追加、変更、またはユーザ、およびこれらのユーザへのロールとドメインの割り当てについては、[User Management \(6 ページ\)](#) を参照してください。

## ドメイン管理

ドメインは、デバイス、COS、ファイル、DPE、NR、プロビジョニンググループ、および DHCP 条件などのさまざまなオブジェクトとのインスタンスのセットです。ドメインは、これらのオブジェクトグループ化されたたとえばレベルアクセス制御のコレクションを表します。適切なアクセス権限を持つ認証されたユーザーのみが、そのドメインに存在するインスタンスを表示できます。

ドメインは、デフォルトドメイン `RootDomain` のサブドメインとして追加されたすべてのカスタムドメインに階層的に示されています。親ドメインへのアクセスを持つユーザは、その親ドメインのサブドメインのすべてにアクセスできます。

## ドメインの追加



- (注) デフォルトでは、ドメイン管理関連のページまたはウィジェットは Admin UI では使用できません。インスタンスレベルの認証フィールドさえも表示されません。それらを有効にするために、プロパティ `/adminui/enableDomainAdministration` の設定する `true` にしなければなりません。このプロパティは、`BPR_HOME/rdu/` で `adminui.properties` ファイルで設定できます。プロパティファイルに変更を行った後、`tomcat` サーバを再起動します。

ドメインを追加するには:

ステップ1 [Security (セキュリティ)] > [Domain Management (ドメイン管理)] を選択します。

**ステップ2** 親ドメインを選択し、[ドメインの追加 (Add Domain)] をページを表示するには、[ドメインの追加 (Add Domain)] をクリックします。

**ステップ3** ドメイン名を入力します。ドメインは、システム全体で一意の名前を必須です。

**ステップ4** 新しいドメインの簡単な説明を入力します。

説明は、ドメインまたは新しいドメインを一意に識別する任意の詳細の特定に役立ちます。

**ステップ5** [Save (保存)] をクリックします。

## ロール管理

ロールは、ユーザーまたはユーザーグループが実行可能な機能のセットを定義するジョブ機能です。これらの機能は、ロールに割り当てられている権限によって制御されます。権限は、ユーザがプライム ケーブル プロビジョニングのオブジェクトとそのプロパティの作成、読み取り、更新、および削除などの操作を行うことを許可します。権限はプライム ケーブル プロビジョニングに組み込まれ、へんこうできません。デフォルトの権限については、[表2: デフォルト権限 \(7 ページ\)](#) を参照してください。

デフォルトの設定済みロールが利用できます。カスタムロールに割り当てられている組み込まれた権限のセットで、カスタムロールを作成することもできます。これらのロールは、プライム ケーブルのプロビジョニングをインストールした後、RDU データベースに読み込まれます。

## 新規ロールの追加

ロールを追加するには

**ステップ1** [セキュリティ (Security)] > [ロール管理 (Role Management)] を選択します。

**ステップ2** [ロールの追加 (Add Role)] をクリックすると、[ロールの追加\*Add Role] ページが表示されます。

**ステップ3** 新しいロールの名前を入力します。

**ステップ4** 新しいロールの簡単な説明を入力します。

説明は、ロールまたは新しいロールを一意に識別する任意の詳細の特定に役立ちます。

**ステップ5** 新しいロールに特権を追加するには:

- [ 権限 (Priviledges) ] タブをクリックし、[ 権限の追加 (Add Privileges) ] をクリックします。
- 新しいロールの権限を決定する適切なチェック ボックスをオンにします。
- [適用 (Apply)] をクリックします。

**ステップ6** このロールを変更できるプロパティを追加するには:

- [ 変更可能なデバイス プロパティ (Modifiable Device Properties) ] タブをクリックし、[ 変更可能なデバイス プロパティの追加 (Add Modifiable Device Properties) ] をクリックします。
- 新しいロールに選択したデバイスのプロパティを変更する権限を追加するための適切なチェック ボックスをオンにします。
- [適用 (Apply)] をクリックします。

ステップ7 カスタムプロパティを追加するには:

- a) [ **カスタムプロパティ (Custom Properties)** ] タブをクリックし、[ **カスタムプロパティの追加 (Add Custom Properties)** ] をクリックします。
- b) 新しいロールにカスタムプロパティを追加するための適切なチェックボックスをオンにします。
- c) [ **適用 (Apply)** ] をクリックします。

(注) Admin UI でカスタムプロパティを追加する場合に、文字列型のみを使用できます。ただし、`Configuration.addRole` API を使用してそれを追加する場合、文字列型に限定できます。

ステップ8 [ **保存 (Save)** ] をクリックします。

## ロールの変更

表3: デフォルトロール (14 ページ) にリストされているデフォルトロールは削除または変更できません。カスタムロールを変更するには、ロールを選択し、[ **Edit (編集)** ] をクリックします。必要な編集を行い、[ **Save (保存)** ] をクリックします。



(注) Admin UI でカスタムプロパティを変更する場合、文字列タイプにのみできます。ただし、`Configuration.changeRoleProperties` API を使用している場合、文字列タイプにのみ制限する必要はありません。

## ユーザグループ管理

ユーザグループとは、ユーザーをまとめたものです。ユーザーと同様に、ユーザグループもロールに割り当てることができます。ユーザグループに属しているユーザーは、ユーザグループに割り当てられているすべての権限を継承します。それらのロールは、グループのメンバーでもあるリソースでのみ有効になるように設定できます。ユーザーは、複数のグループのメンバーになることができます。ユーザーが取得する一連の権限は、ロールからすべて集約されています。

[ **User Group Management (ユーザグループ管理)** ] オプションから、ユーザグループを追加、変更、削除、複製できます。

### 新しいユーザグループの追加

ユーザグループを追加するには。

ステップ1 [ **Security (セキュリティ)** ] > [ **User Group Management (ユーザグループ管理)** ] を選択します。

ステップ2 [ **Add New User Group (新規ユーザグループの追加)** ] ボタンをクリックすると、[ **Add User Group (ユーザグループの追加)** ] ページが表示されます。

ステップ3 ユーザグループ名を入力します。

**ステップ 4** 新しいユーザ グループの簡単な説明を入力します。

説明により、ユーザ グループのロールや、新規ユーザ グループを固有に識別する詳細を確認するのに役立ちます。

**ステップ 5** [Add Roles (ロールの追加)] をクリックします。

**ステップ 6** 新規ユーザ グループのロールを決定するには、適切なチェック ボックスをオンにします。

**ステップ 7** [Apply] をクリックします。

**ステップ 8** [Save] をクリックします。

## ユーザ グループ マッピング

プライム ケーブル プロビジョニングはユーザ グループ マッピングを提供し、プライム ケーブル プロビジョニング ユーザ グループ名に対して、外部ユーザ グループ名のマッピングが可能になります。外部グループは、既存のプライム ケーブル プロビジョニング ユーザ グループ名にマッピング可能です。下の表の例では、オペレータが ProvGroupAdmin にマッピングされ、Admin は管理者にマッピングされています。

次の表に、ユーザ グループのマッピングの例を示します。

表 1: ユーザ グループ マッピングの例

外部ユーザ グループ	RDU ユーザ グループ名
オペレーター	ProvGroupAdmin
Admin	管理者

ユーザ グループのマッピングの表では、外部グループ名の設定は一固有であり重複しないようにする必要があります。ただし、1個以上の外部グループは社内ユーザ グループにマッピングできます。



(注) 内部ユーザ グループを削除する前に、そのユーザ グループへのすべてのマッピングを削除する必要があります。

## ユーザ グループ マッピングの追加

新しいユーザ グループ マッピングを作成するには。

**ステップ 1** [Security (セキュリティ)] > [User Group Mapping (ユーザ グループ マッピング)] を選択します。

**ステップ 2** [Add User Group Mapping (ユーザ グループ マッピングの追加)] をクリックします。新しい行が表示されます。

**ステップ 3** [Remote Group Name (リモートグループ名)] フィールドに既存の外部ユーザ グループ名を入力します。

(注) [Remote Group Name (リモート グループ名)] は大文字と小文字が区別されます。

ステップ 4 [User Group Name (ユーザー グループ名)] ドロップダウン リストからマッピングするユーザー グループを選択します。

ステップ 5 [Save (保存)] をクリックします。

## User Management

ユーザーの管理には、プライムケーブルプロビジョニングを管理するユーザーの追加、変更、削除することが含まれます。権限に応じてこのメニューを使用し、ユーザーを追加、変更、削除できます。このメニューでは、プライム ケーブル プロビジョニングを使用するように設定されているすべてのユーザーを表示し、ユーザー グループを特定します。

プライム ケーブル プロビジョニングは、特定の権限を持つユーザーにロールベースアクセスを提供し、アクセスコントロールおよびプロビジョニングデータの整合性を保証します。ユーザーは、プライム ケーブル プロビジョニングで実行可能なアクションの範囲を決定するロールを割り当てることができます。ユーザーは、事前に割り当てられているロールを持つユーザー グループにも追加できます。

Admin UI ですべての画面の右上隅近くに、割り当てられているユーザー名が表示されます。



(注) 承認可能な以前のリリースからプライム ケーブル プロビジョニングに移行中、すべての移行された読み取り専用ユーザーは、読み取り専用ロールと **RootDomain** 以外に割り当てられます。同様に、すべての読み取り/書き込みユーザーは読み取り専用および **RootDomain** 以外に割り当てられます。ユーザー関連の権限を持つ場合にのみユーザーを管理できます。

## 新規ユーザーの追加

新規ユーザーの追加は、ユーザー名を入力し、パスワードを作成するシンプルなプロセスです。ただし新規ユーザーの作成中に、権限を付与するためセッション数を指定し、ロールを割り当て、ユーザーグループまたはドメインへのユーザーの追加を指定して、特定のアクションを実行する必要があります。



(注) 1 **Admin**ユーザーを持つプライム ケーブル プロビジョニングはすでに作成されています。このユーザーを再度作成することはできません。

新規のユーザを追加するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 [Security (セキュリティ)] > [User Management (ユーザー管理)] を選択します。

ステップ 2 [Add (追加)] をクリックすると、[Add User (ユーザーの追加)] ページが表示されます。

- ステップ 3** 新しいユーザーの名前を入力します。
- ステップ 4** **[Number of sessions allowed (許可されるセッション数)]** フィールドの値を変更することで、ユーザーに許可される同時セッション数を制限することができます。このフィールドに値を指定しない場合、**[RDU Defaults(RDUデフォルト)]** ページのフィールドの値で、ユーザーに許可されるセッション数が決定されます。
- ステップ 5** 新しいユーザー グループの簡単な説明を入力します。  
説明では、ユーザーのジョブ、位置、または新しいユーザーを固有に識別する詳細の特定に役立ちます。
- ステップ 6** パスワードを入力し、確認します。入力したパスワードに 8 文字以上であることを確認します。
- ステップ 7** 新しいユーザーにロールを追加するには。
- [Roles (ロール)]** タブをクリックし、**[Add Roles (ロールの追加)]** をクリックします。
  - 新規ユーザーのロールを決定するには、適切なチェック ボックスをオンにします。
  - [Apply]** をクリックします。
- ステップ 8** ユーザー グループにユーザーを追加するには。
- [Usergroup (ユーザー グループ)]** タブをクリックし、**[Add Usergroups (ユーザー グループの追加)]** をクリックします。
  - ユーザー グループに新しいユーザーを追加するため、適切なチェック ボックスをオンにします。
  - [Apply]** をクリックします。
- ステップ 9** ドメインに新しいユーザーを追加するには。
- [Domain (ドメイン)]** タブをクリックし、**[Add Domains (ドメインの追加)]** をクリックします。
  - ドメインに新しいユーザーを追加するため、適切なチェック ボックスをオンにします。
  - [Apply]** をクリックします。
- ステップ 10** **[Save]** をクリックします。
- (注) 安全な場所で新規ユーザーのパスワードを記録し保存して、損失や盗難、不正なエントリの可能性を防止するようにしてください。

## デフォルト設定

このセクションでは、プライム ケーブル プロビジョニングのデフォルト設定を説明します。

### デフォルト権限

次の表に、プライム ケーブル プロビジョニングのデフォルト権限を示します。

表 2: デフォルト権限

権限	説明
すべて	

権限	説明
*	ユーザーはすべてのオブジェクトにアクセス権を付与します。これは、ユーザーにすべての権限を付与するのと同じです。
<b>Class of Service</b>	
PRIV_COS_CREATE	システムで新しい COS オブジェクトの追加を有効にします。
PRIV_COS_READ	COS オブジェクトとすべてのプロパティの表示を有効にします。COS オブジェクトの選択を有効にします。
PRIV_COS_UPDATE	COS オブジェクトのプロパティの変更を有効にします。
PRIV_COS_DELETE	システムからの COS オブジェクトの削除を有効にします。
<b>DHCP の条件</b>	
PRIV_DHCP_CRITERIA_CREATE	システムで新しい DHCP 条件オブジェクトの追加を有効にします。
PRIV_DHCP_CRITERIA_READ	DHCP 条件オブジェクトとすべてのプロパティの表示を有効にします。DHCP 条件オブジェクトの選択を有効にします。
PRIV_DHCP_CRITERIA_UPDATE	DHCP 条件オブジェクトのプロパティの変更を有効にします。
PRIV_DHCP_CRITERIA_DELETE	システムから DHCP 条件オブジェクトの削除を有効にします。
<b>ファイル</b>	
PRIV_FILE_GENERIC_CREATE	一般的なファイルをシステムに追加できるようにします。
PRIV_FILE_GENERIC_READ	プロパティと一般的なファイルのデータの表示、検索、選択、エクスポートを有効にします。
PRIV_FILE_GENERIC_UPDATE	一般的なファイルの置換を有効にします。
PRIV_FILE_GENERIC_DELETE	システムから一般的な削除を有効にします。

権限	説明
PRIV_FILE_CABLELABS_CONF_SCRIPT_CREATE	システムに CableLabs スクリプト ファイルを追加できるようにします。
PRIV_FILE_CABLELABS_CONF_SCRIPT_READ	プロパティと CableLabs スクリプト ファイルのデータの表示、検索、選択、エクスポートを有効にします。
PRIV_FILE_CABLELABS_CONF_SCRIPT_UPDATE	CableLabs スクリプトファイルの置換を有効にします。
PRIV_FILE_CABLELABS_CONF_SCRIPT_DELETE	システムから CableLabs スクリプトファイルの削除を有効にします。
PRIV_FILE_CABLELABS_CONF_TMPL_CREATE	システムに CableLabs テンプレートファイルを追加できるようにします。
PRIV_FILE_CABLELABS_CONF_TMPL_READ	プロパティと CableLabs テンプレートファイルのデータの表示、検索、選択、エクスポートを有効にします。
PRIV_FILE_CABLELABS_CONF_TMPL_UPDATE	CableLabs テンプレートファイルの置換を有効にします。
PRIV_FILE_CABLELABS_CONF_TMPL_DELETE	システムから CableLabs スクリプトテンプレートの削除を有効にします。
PRIV_FILE_CABLELABS_STATIC_CONF_CREATE	システムに CableLabs スクスタティック設定ファイルを追加できるようにします。
PRIV_FILE_CABLELABS_STATIC_CONF_READ	プロパティと CableLabs スタティック設定ファイルのデータの表示、検索、選択、エクスポートを有効にします。
PRIV_FILE_CABLELABS_STATIC_CONF_UPDATE	CableLabs スタティック スクリプト設定ファイルの置換を有効にします。
PRIV_FILE_CABLELABS_STATIC_CONF_DELETE	システムから CableLabs スタティック スクリプト設定ファイルの削除を有効にします。
PRIV_FILE_DCFG_CREATE	システムに Dynamic Configuration Filename Generation (DCFG) スクリプトの追加を有効にします。
PRIV_FILE_DCFG_READ	プロパティと DCFG スクリプトのデータの表示、検索、選択、エクスポートを有効にします。

権限	説明
PRIV_FILE_DCFG_UPDATE	DCFG スクリプトの置換を有効にします。
PRIV_FILE_DCFG_DELETE	システムから DCFG スクリプトの削除を有効にします。
PRIV_FILE_FIRMWARE_CREATE	システムにファームウェア イメージの追加を有効にします。
PRIV_FILE_FIRMWARE_READ	プロパティとファームウェア イメージのデータの表示、検索、選択、エクスポートを有効にします。
PRIV_FILE_FIRMWARE_UPDATE	ファームウェア イメージの置換を有効にします。
PRIV_FILE_FIRMWARE_DELETE	システムからファームウェア イメージの削除を有効にします。
PRIV_FILE_JAR_CREATE	システムに JAR ファイルの追加を有効にします。
PRIV_FILE_JAR_READ	プロパティと JAR ファイルのデータの表示、検索、選択、エクスポートを有効にします。
PRIV_FILE_JAR_UPDATE	JAR ファイルの置換を有効にします。
PRIV_FILE_JAR_DELETE	JAR ファイルの削除を有効にします。
PRIV_FILE_MIB_CREATE	システムに MIB ファイルの追加を有効にします。
PRIV_FILE_MIB_READ	プロパティと MIB ファイルのデータの表示、検索、選択、エクスポートを有効にします。
PRIV_FILE_MIB_UPDATE	MIB ファイルの置換を有効にします。
PRIV_FILE_MIB_DELETE	システムから MIB ファイルの削除を有効にします。
<b>デバイス、デバイス タイプ</b>	
PRIV_DEVICE_CREATE	システムに新規デバイスの追加を有効にします。
PRIV_DEVICE_READ	デバイスプロパティの表示、デバイスの検索、デバイスの選択を有効にします。DPE CLI で show デバイス設定の使用を許可します。

権限	説明
PRIV_DEVICE_UPDATE	デバイス オブジェクトのプロパティの変更を有効にします。
PRIV_DEVICE_DELETE	システムからデバイスの削除を有効にします。
PRIV_DEVICE_REGEN	デバイス設定の再生成の呼び出しを有効にします。
PRIV_DEVICE_OPERATION	このデバイスで操作を有効にします。
<b>RDU</b>	
PRIV_RDU_READ	RDU ステータスの表示を有効にします。
PRIV_RDU_EVENT	RDU イベントを登録する必要があります。
<b>ノードタイプおよびノード</b>	
PRIV_GROUP_CREATE	グループの作成を有効にします。
PRIV_GROUP_READ	すべてのグループの表示および選択を有効にします。
PRIV_GROUP_UPDATE	グループの更新を有効にします。
PRIV_GROUP_DELETE	グループの削除を有効にします。
<b>LicenseKey</b>	
PRIV_LICENSE	すべてのライセンス キーの追加、更新、削除を有効にします。ライセンスの表示は保護されていません。
<b>パブリッシュ</b>	
PRIV_PUBLISHING	すべての読み取り/更新を有効にします。
<b>CRS</b>	
PRIV_CRIS_CREATE	CRS の作成を有効にします
PRIV_CRIS_READ	CRS によりキューされた要求の表示と検索を有効にします。
PRIV_CRIS_UPDATE	ユーザーが CRS ジョブを一時停止または再開できるようにします
PRIV_CRIS_DELETE	ユーザーが CRS ジョブを削除できるようにします。

権限	説明
<b>ProvGroup</b>	
PRIV_PROVGROUP_READ	プロビジョニンググループプロパティの表示を有効にします
PRIV_PROVGROUP_UPDATE	ProvGroup プロパティの更新を有効にします
PRIV_PROVGROUP_DELETE	プライムケーブルプロビジョニングからプロビジョニンググループの削除を有効にします。
<b>DPE</b>	
PRIV_DPE_READ	DPE ステータスの表示を有効にします。DPE CLI の無効モードを許可します。
PRIV_DPE_UPDATE	DPE CLI 有効モードを許可します。
PRIV_DPE_DELETE	DPE の削除を許可します。
PRIV_DPE_SECURITY	dpe 管理パスワードの変更や認証設定を含む管理操作を含む管理操作に関するすべてのセキュリティ。
<b>NR</b>	
PRIV_NR_READ	CNR ステータスの表示を有効にします。
PRIV_NR_UPDATE	NR 拡張ポイントの更新を有効にします
PRIV_NR_DELETE	プライムケーブルプロビジョニングから CNR の削除を有効にします。
<b>User</b>	
PRIV_USER_CREATE	ユーザーの追加を有効にします。
PRIV_USER_READ	ユーザーの表示または検索を有効にします。
PRIV_USER_UPDATE	ユーザー プロパティの変更を有効にします。
PRIV_USER_DELETE	ユーザーの削除を有効にします。
PRIV_USER_SECURITY	ユーザーに対するロール、ユーザー グループの割り当てを有効にします。許可されたセッションのユーザー数を設定できるようにします。  (注) PRIV_USER_SECURITY は、強力な権限を持っており注意して使用する必要があります。

権限	説明
<b>Role</b>	
PRIV_ROLE_CREATE	ロールの追加を有効にします。
PRIV_ROLE_READ	ロールと権限の読み取りまたは検索を有効にします。
PRIV_ROLE_UPDATE	ロール プロパティの変更を有効にします。
PRIV_ROLE_DELETE	ロールの削除を有効にします。
<b>ドメイン</b>	
PRIV_DOMAIN_CREATE	ドメインの追加を有効にします。
PRIV_DOMAIN_READ	ドメイン操作の表示と選択を有効にします。
PRIV_DOMAIN_UPDATE	更新操作を有効にします。
PRIV_DOMAIN_DELETE	削除操作を有効にします。
<b>Custom Property</b>	
PRIV_PROPERTY_CREATE	新しい顧客プロパティの追加を有効にします。
PRIV_PROPERTY_READ	RDU デフォルトおよびカスタムプロパティの表示を有効にします。
PRIV_PROPERTY_UPDATE	カスタム プロパティの変更を有効にします。
PRIV_PROPERTY_DELETE	カスタム プロパティの削除を有効にします。
<b>システム デフォルト</b>	
PRIV_SYSDEF_READ	システム プロパティの表示を有効にします。 例：GetRDUDefaults
PRIV_SYSDEF_UPDATE	システム プロパティの変更を有効にします。 例：ChangeRDUDefaults
<b>Logging</b>	
PRIV_LOGGING	ロギング/デバッグレベルを設定します。ログを表示します。
PRIV_AUDIT_LOGGING	監査ログの表示を有効にします。
<b>ユーザ グループ</b>	
PRIV_USERGROUP_CREATE	操作の作成を有効にします

権限	説明
PRIV_USERGROUP_READ	すべての読み取りおよび選択操作を有効にします
PRIV_USERGROUP_UPDATE	操作の更新を有効にします
PRIV_USERGROUP_DELETE	操作の削除を有効にします
テクノロジー デフォルト	
PRIV_TECHDEF_READ	テクノロジーのデフォルトのプロパティ表示を有効にし、PRIV_COS_READ および PRIV_DHCP_CRITERIA_READ の権限が必要になります。
PRIV_TECHDEF_UPDATE	テクノロジーのデフォルトのプロパティ更新を有効にし、PRIV_COS_UPDATE および PRIV_DHCP_CRITERIA_UPDATE の権限が必要になります。
(注) 6.1.2バージョンにアップグレードする際に、デフォルトでデバイスの読み取りおよび更新権限がある場合、テクノロジーは読み取りおよび更新権限を個別にデフォルトで有しています。	

## デフォルト ロール

次の表に、プライム ケーブルのプロビジョニングのデフォルト ロールを示します。

表 3: デフォルト ロール

Role Name	説明
Admin	管理とはスーパー管理者であり、デバイス プロパティ値の変更を含むすべての機能を有します。
COSAdmin	COS 管理は、すべての COS およびプロパティを追加、削除、更新、検索、エクスポートできます。
DeviceAdmin	デバイス管理では、使用可能なすべてのデバイス上でデバイス操作権限を追加、検索、関連付け、再関連付け、再生成できます。 DeviceAdmin は、すべての属性とプロパティを読み取りおよび変更できる権限を有します。

Role Name	説明
DHCPAdmin	DHCP admin は、すべての DHCP 条件とそのプロパティを追加、削除、更新、検索できます。
FileAdmin	ファイル管理は、すべてのファイルとそのプロパティを追加、削除、更新、検索、エクスポートできます。
ProvGroupAdmin	プロビジョニンググループ管理者は、プロビジョニンググループプロパティを表示および更新できます。ProvGroupAdmin は、プロパティとともにプロビジョニンググループのサーバを表示、更新、削除できます。このロールは、DPE CLI のすべての操作を許可します。
RDUAdmin	RDUAdmin はすべての RDU デフォルトおよびシステムプロパティを表示、追加、削除できます。このロールは、ライセンス上の権限を追加および削除し、使用可能な公開プラグインすべての権限を読み取りおよび変更し、CRS を管理し、MIB を管理できます。
ReadOnly	ReadOnly は、ユーザー、ユーザーグループ、ドメイン、ロール以外のすべての使用可能なリソースの読み取り権限があります。
ReadWrite	ReadWrite は、ユーザー、ユーザーグループ、ドメイン、ロール以外のすべての使用可能なリソースの作成、変更、削除権限があります。
<p>ReadOnly および ReadWrite ロールは、下位互換性のみで提供されます。これらのロールは、プライム ケーブル プロビジョニングで導入されているユーザー、ユーザーグループ、ドメイン、ロール、ユーザーグループマッピングなどのセキュリティ関連機能にはアクセスできません。</p> <p>(注) インスタンス レベルが有効になっている場合、ReadWrite はインスタンス レベルチェックをサポートする任意のリソースを追加できません。</p>	
SecurityAdmin	SecurityAdmin は、すべての使用可能なグループ上の権限を追加、関連付け、関連付けの解除権限があり、すべての属性の権限を変更できます。
UserAdmin	UserAdmin は、使用可能なすべてのユーザーおよびユーザーのプロパティを追加、削除、変更、関連付け、関連付け解除できます。

Role Name	説明
CRSAdmin	CRSAdmin は、CRS を有効化、無効化、一時停止、再開できます。このロールは、すべての CRS 要求を作成、削除、更新できます。

## デフォルトのユーザグループ

次の表に、プライムケーブルのプロビジョニングのデフォルトユーザグループを示します。

表 4: デフォルトのユーザグループ

ユーザグループ	説明	ロール
管理者	このユーザグループは、スーパー ユーザーで構成されています。	Admin

## デフォルト ドメイン

次の表に、プライムケーブルのプロビジョニングのデフォルトドメインを示します。

表 5: デフォルトドメイン

ドメイン (Domain)	Members
RootDomain	All current objects

## デフォルト ユーザ

次の表に、プライムケーブルのプロビジョニングのデフォルト ユーザーを示します。

表 6: デフォルトユーザ

User	割り当てられたロール	割り当てられたユーザグループ	割り当てられたドメイン
admin	Admin	管理者	RootDomain